イチゴ（シンプル散布）

この１剤を２週間に１度散布するだけ!!

厳寒期にも花を沢山咲かせ、収量増加！

色艶の良い美しく糖度の高いイチゴへ！！

ご使用いただく商品

甘彩六花（アマイロリッカ）　P-1.6 K-0.3

- 発酵工程で吸収力を高めたリン酸とその他生殖成長因子が花芽分化を促進し、花数を増加させます。
- 甘彩六花の強い生殖成長作用により結実率を向上せます。
- 細胞分裂を促進し、細胞の数を増やして肥大させるため、味や色を濃く、品質を向上させます。
- 糖の生成を促進するため、糖度が増加し、食味が向上します。

使用方法

８月以降から１～２週間に１回、500 倍希釈で葉面散布または灌水

＊希釈倍率を勘案されない場合、目安となる量は 1～2 kg/10a です。

【イチゴにはこちらの商品もおすすめです】

活根彩果（カッコンサイカ）：育苗から定植直後の初期成育を促進

健花（スコヤカ）：うどん粉病、炭疽病などの病気予防や軟果予防

甘彩（アマイロ）：シーズン終盤の成疲れ予防や軽減

甘彩六花シリーズを使いこなしたい方へ！

イチゴ（組み合わせ散布）

甘彩六花がおすすめする栽培方法はこれ！！

イチゴの美味しさ・品質の向上と収量増加に圧倒的な効果を発揮！

活根彩果（カッコンサイカ）
N-3.5 K-0.5 P-0.4 B-0.18 Mn-0.08
育苗時に使用することで、ランナーの発生を促進します。また、子株育苗時や定植時に潅水することで根の量を増加、活着を促進させ、初期成育を向上させます。

甘彩六花（アマイロリッカ） P-1.6 K-0.3
強い生殖成長作用により、花数の増加、結実率向上に抜群の効果を発揮します。
また、細胞分裂を促進することで、味や色が濃くなり、果実品質が向上します。

健花（スコヤカ） P-2.5 K-0.2 Ca-3.5
カルシウムで細胞壁を強化し、うどん粉病などの空気中を浮遊する菌の侵入を防ぎ、病気を予防します。また、果実を引き締め、軟果を予防し棚持ちを向上します。

甘彩（アマイロ） N-1.0 P-0.5 K-0.3
栄養成長型ではありながら、開花や結実を抑制することなく葉や茎の展開を促し、樹勢を回復させます。シーズン終盤の成疲れ予防や軽減に効果を発揮します。

【 使用方法 】

育　苗　期：２週間に１回、500 倍希釈の活根彩果と健花を潅水または葉面散布。
花芽分化期：花芽分化期に 2～3 回、甘彩六花 500 倍希釈を葉面散布。
定　植　時：活根彩果 500 倍希釈液にドブ漬けまたは定植後７日おきに３回潅水。
収　穫　期：1～2 週間に１回、甘彩六花 500 倍希釈を葉面散布または灌水。
２週間に１回、健花 500 倍～1000 倍希釈を葉面散布または灌水。
２月以降に甘彩 500 倍希釈を潅水（希釈倍率を勘案しない場合、1～2 kg/10a）。

	育苗期 5～8月	花芽分化期 8月	定植時 9月	収穫期 12月～5月
活根彩果	2週間に1回		2～3回	
健花	2週間に1回			2週間に1回
甘彩六花		2～3回		1～2週間に1回
甘彩				2週間に1回

＊活根彩果・甘彩は潅水、健花は葉面散布での使用がより効果的です。
甘彩六花は葉面散布・潅水どちらでも同等の効果が得られます。